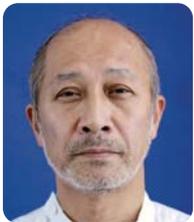




れんけい だよ



年頭のごあいさつ



院長
禰 公平

明けましておめでとうございます。診療所の先生方には常日頃、当院へご厚情をいただき感謝申し上げます。

3年続いた民主党政権も期待はずれに終わり自民政権に交代しましたが、1年で1

兆円を越す医療費の増加に対して果たしてどのような策を打ってくるのか注目されるところです。

昨年は6月に竣工した本館で外来診療を開始いたしました。移転時には外来を一時停止せざるを得ず、先生方にご迷惑をおかけ致しました。また、度々満床に近くなり、入院制限をせねばならない状況が生じたことをお詫び申し上げます。

さて、今年には病病、病診連携のIT化、「まめネット」が開始されます。先生方のご負担は少なくてすむはずですが、当院としてはどのように利用できるかを考え先生方と相談させていただきながら

進めていこうと思っております。

医師不足は相変わらず改善の兆しなく、鳥取、鳥根両大学にも余裕のない有様で、医師への負担が増加傾向にあり、最終的に診療制限も考えに加えねばならないかもしれませんが、とにかく医師確保が病院存続の生命線になりそうです。今年も単独型の初期臨床研修医が9人来てくれることになりましたが、その内、女性医師が8人です。研修医をしっかり育てていくことが重要であると思っております。

この地域の急性期医療を果たすべく、職員一同頑張りますので、今年も何卒宜しくお願い申し上げます。



第6回地域医療従事者スキルアップセミナーを終えて

地域医療連携課長 齊藤文章



去る11月17日(土)「第6回地域医療従事者スキルアップセミナー」を開催しました。今回は、「高齢化社会における循環器診療」と題し、循環器内科杉原志伸医師から「高齢者慢性心不全の管理について～みんなでおしましょ～」と題して、また城田欣也循環器内科部長からは「高齢化社会における循環器系薬剤使用の注意点」と題して講演頂きました。続いて、福田勇司臨床工

学課係長から「ペースメーカー患者の新しい管理(ホームモニタリングシステム)」、さらに福山直樹第一リハビリテーション課主任からは「心臓リハビリテーション」と題して講演頂きました。どの演題もとても素晴らしい内容で、参加された皆様も満足のいくものであったかと思えます。事前申し込みで院外から83名、院内からは27名の申込みがありました。当日は合計120名以上の参加を頂き、無事成功裏に終えることができました。なお、今回はこれまで「くにびきメッセ」を主会場に過去5回行ってきたスキルアップセミナーでしたが、当院本館竣工に伴い、始めて本館6階講堂を利用しての開催となりました。さらに、「広報研修委員会」から「地域連携推進委員会」へと委員会が変わっての開催と、初めての事柄が多く事務局としては不安もありましたが、諸先生方や関係者の皆様方のアドバイスやご支援を受け、何とか無事に乗り切ることができました。今後もスキルアップセミナーを通して地域の皆様との連携を図っていききたいと思います。

松江赤十字病院地域連携サイエンス漢方処方研修会

副院長・医療社会事業部長 中岡光生

平成24年11月30日「松江赤十字病院地域連携サイエンス漢方処方研修会」が開催されました。院内から32名、院外から12名の参加でした。

“急性期病棟で役立つ漢方薬の使い方”と題して静仁会静内病院院長の井齋偉矢先生にご講演いただきました。西洋医学は局所的、東洋医学は大局的といった漠然とした視点の違いをイメージしていましたが、井齋先生は西洋医学も東洋医学も同じサイエンスで二つの融合を目指しておられるように思いました。

漢方薬は抗炎症作用を基本とする、超多成分薬剤システムであることを前置きされ、そのうえで、呼吸器感染症、心不全、急性ウイルス胃腸炎、鼻炎、咽頭炎、感冒、脳卒中等疾患別に最適の漢方処方をお示しいただきました。

参加いただいた多くの先生方がこういった時にはあの漢方薬を使ってみよう、あの患者さんにはこの漢方薬を使ったらいいのでは等思われたことと思います。研修会終了後漢方採用薬が9品目から27品目まで増やされました。治療の選択肢の広がりが期待されます。平成25年6月には“がん診療における漢方薬の使い方”をテーマに第2段の漢方処方研修会の開催が決まりました。多数のご参加をお待ちしています。



平成24年度 第3回地域医療支援病院運営委員会を開催しました。

去る12月20日(木)午後1時30分から「平成24年度第3回地域医療支援病院運営委員会」を開催しました。患者の状況や救急医療の提供について、地域の医療従事者に向けた講演会や研修会などの実施状況について報告いたしました。委員の先生からは救急医療の状況やドクターヘリや防災ヘリの利用状況などについての質問が寄せられました。また、本院が取り組んでいる「押しかけ勉強会」や「押しかけカンファレンス」、「地域懇談会」などは地域にとって重要な実践活動であり、継続した活動として一層充実させるように、と助言がありました。この「地域医療支援病院運営委員会」は地域医療支援病院の承認要件となっており、年4回の開催が義務付けられています。委員は、医師会等の医療関係団体の代表者、病院が所在する都道府県、市町村の代表、学識経験者などにより構成しています。

栄養課

地域医療勉強会で調理実習を行いました!

昨年10月31日(水)・11月21日(水)の2回に分け、第16回地域医療勉強会を行いました。両日で合計16名の参加があり、調理師さん、ヘルパーさん、管理栄養士さん、歯科衛生士さんなど集まって頂きました。各施設で実際に調理に携わる方との実習だけに、お互い刺激となりました。今回は「松江嚥下食レシピ集」を用いてL2～L4bまで、それぞれの食形態に応じ調理を行いました。鶏の照り焼き、煮魚、ほうれん草の浸しなど、基本になるメニューを展開し、最後に写真撮影



を行いました。出来栄をチェックし試食をすると、「思ったよりおいしい」「素材がうまければ、嚥下食もなかなかおいしいな」「食べるとこんな感じになるのか・・・」「見た目違和感が無いかも」などの声上がり、有意義な勉強会となりました。これを機に、ますます連携を強めたいと思います。

逆押しかけ勉強会の開催



いつもは他施設等に押しかけての勉強会。今回、逆に押しかけていただいた「逆押しかけ勉強会」を平成24年12月、「株式会社花みずきナースステーション」代表取締役高橋京子氏を講師に行いました。退院された患者さんが安心して自宅で療養生活が過ごせるのは、「訪問看護師の力」があってこそ。病院側のスタッフも訪問看護についてもっと理解しておかなければと企画しました。

53名の医師・看護師の参加がありました。アンケートより「退院の夜、3日間、1週間が無事に過ごせるか、大丈夫か、本人・家人にとっては不安が

大きいこと」「個別性を大切にし、患者さんが大切にしていることを考え、生活の中でケアを行っていること」「長い時間をかけて患者家族と向き合い、いろいろな思いを受け止めながら関わっていくこと」など、より訪問看護を知ることでの感想がありました。また、連携強化のためには、「在宅での生活が早く軌道にのるための情報を伝えていくことの大切さを学んだ」「在宅でどう生活するか考えていきたい」などの意見がありました。今後も押しかけ勉強会などを通して、看一看連携の推進にむけて連携先の理解を深めていこうと考えています。

乳がん地域連携パス 勉強会の開催

去る12月13日、当院において「乳がん地域連携クリティカルパス勉強会」を開催しました。内容は「乳がん連携パス運用状況」「乳がん術後再発を早期に見つけるための視触診の方法」「放射線治療後の副作用」「新規乳がん連携パス(化学療法中・後)の紹介」など主に当院の乳腺外科医師を中心に行いました。連携医を中心に約30名の方の参加がありました。この中で連携についての質問もありました。たくさんの方の参加ありがとうございました。



市民公開講座

よくわかる 肺がん講座



講演① 肺がんってなに?どんな病気?
呼吸器外科部長 磯和 理貴

講演② 肺がんが疑われたら…
—病院でする検査と治療について—
呼吸器内科医師 中崎 博文

ちょっとひと息 やってみよう!呼吸体操
リハビリテーション課 理学療法士

講演③ 肺がん患者の心のケア
—自分らしい生活のために—
緩和ケア認定看護師 川上 和美



体験コーナー

- 呼気COモニター
- バルブスオキシメーター

入場無料

日時/2013年**3月10日**日
開演 13:30 (開場 13:00)

場所/**島根県民会館 大会議室**

主催 松江赤十字病院
後援 松江市・松江市医師会・八東医師会

問い合わせ先
松江赤十字病院 がん相談支援センター
tel 0852-32-6901

研修会等のご案内

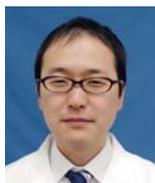
外来糖尿病教室

3/13 水 10:00~13:30 本館6階講堂
「合併症を防ぐために -その2-」

- 糖尿病網膜症のおはなし 眼科部長 北川 清隆
- 「これぐらいは大丈夫」と思っていないか? 管理栄養士 太田 尚志
~嗜好食品の落とし穴~
- ワンポイントアドバイス 家の中でできる運動 Part.2 理学療法士 渡邊 剛
- 体験談 「わかってはいるけれど…」 すこやか会会員 永田須麻子
- 食事会 「春の彩 はなやかメニュー」



小児科 遠藤 充



松江日赤から隠岐病院に2年間赴任し、この度戻ってまいりました。松江だけでなく隠岐や周辺地域の方々にもお役に立てるよう尽力致します。よろしくようお願い申し上げます

退職者

11月31日付
小児科医師 齋藤 恭子

12月31日付
泌尿器科医師 佐藤 真由子

松江赤十字病院 地域医療連携課

〒690-8506 松江市母衣町200番地
TEL 0852-32-7813 FAX 0852-27-9261

